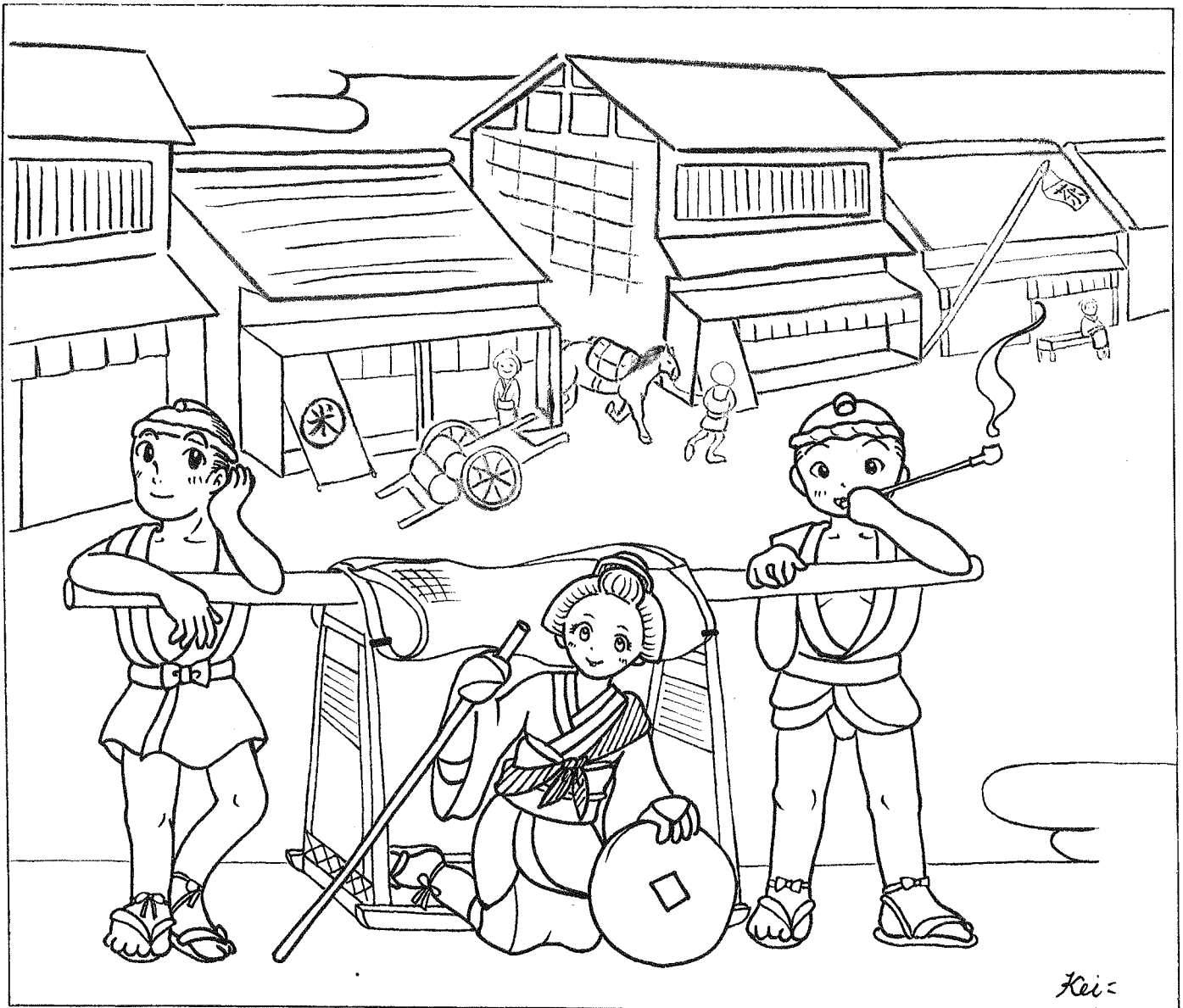


にっこうどうちゅうかすかべしゆく
 ~日光道中粕壁宿~

日光道中は江戸時代に整備された五街道のひとつで、当時の重要な交通路でした。江戸日本橋を起点として、現在の栃木県日光市まで通じる二十三宿・三十六里十一町あまりの街道で、粕壁宿は千住宿から数えて4番目の宿場にあたりました。江戸時代はじめの俳人・松尾芭蕉も『奥の細道』の道中、粕壁宿に泊まったといわれています。粕壁宿は現在の春日部大通りにあたります。



なまえ
 名前

ねんれい

さい

がっこう ようちえん ほいくえん
 学校・幼稚園・保育園

年

組